

邑楽町教育委員会会議録	
開会年月日時刻	令和7年12月23日(火)午前9時30分
閉会年月日時刻	令和7年12月23日(火)午前10時50分
開会の場所	邑楽町役場2階204会議室
議案事項	議案第25号 邑楽町誌編さん委員会委員公募要綱(案)について
その他	(1) 邑楽町誌編さん委員会委員公募要綱(案)について (2) 令和7年度邑楽町いじめ防止こども会議について (3) 令和8年度1月行事予定について (4) 長期欠席者等の状況について (5) 次回教育委員会について (6) その他
出席者	教育長 小林 淳一 委員 岡田 真幸 委員 谷津 洋子 委員 中村 郷志 委員 橋本 明香
説明員	学校教育課長 川島 隆史 生涯学習課長 藤田 和良 教育委員会書記 森本 賢太郎 教育委員会書記 小宮 雅貴

議事録	
議長(小林)	<p>ただ今より、12月定例教育委員会を開会いたします。</p> <p>まずははじめに、前回の議事録について、岡田委員、谷津委員にご署名お願いしたいと思います。</p> <p>次に、今回の議事録署名人を決定いたします。中村委員、橋本委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、教育長事務報告をいたします。</p> <p>11月30日(日)は第40回町民バドミントン大会でした。開会式で挨拶をしました。12月1日(月)は12月定例会の初日でした。午後は課長会議がありました。2日(火)は一般質問の1日目でした。教育関係では学校給食の無償化、認知症教育の推進、小中学校再編について3名の議員から質問がありました。3日(水)は一般質問2日目でした。社会体育施設の整備について質問がありました。5日(金)は定例会最終日でした。閉会後、全員協議会がありました。8日(月)は、管内小中学校長会議でした。私からの挨拶では、2学期末にあたり現時点での学校経営の成果と課題を明らかにしてほしいこと、そこから3学期の経営の重点を明確化してほしいこと等をお願いしました。10日(水)は、午後6時から館林市役所にて第2回ブロック別人事教育長会議がありました。邑楽・館林管内の年度末管理職人事について協議しました。12日(金)は令和7年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受けた「邑楽町手話サークルすずらん」の皆さんへの表敬訪問がありました。私からは夏季休業中の8月の町内の小中学校教職員を対象とした手話の研修会が好評だったことをお伝えしました。</p> <p>13日(土)は第34回婦人会の集いでした。中学生による人権作文の朗読を聞いたり、人権啓発映画を鑑賞したりしました。14日(日)は第64回邑楽町上毛かるた大会でした。15日(月)は課長会議がありました。16日(火)は東部教育事務所の人事ヒアリングでした。教職員の年度末人事についてお願いをしたり、協議をしたりしました。20日(土)は午後から中央公民館でクリスマスコンサートがありました。フォークや二胡の演奏、声楽に聞き入りました。そして、23日(火)の今日、この教育委員会議となつております。以上です。</p> <p>ご質問ありますか。</p>
岡田委員	バドミントン大会では参加人数は多いですか。

議長(小林)	<p>バドミントン大会は午前の部と午後の部があり、その内容としては、午前の部が小中学生対象、午後の部が大人対象でした。主に開会式と午前の部を観覧しましたが、名簿を見ますとかなりの人数が参加している様子でした。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>まずお諮りします。6. その他の(4)長期欠席者等の状況については個人情報案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、異議ございませんでしょうか。</p> <p>[異議なし]</p> <p>議長(小林)</p> <p>異議なしと認めます。それでは、これらにつきましては非公開とし、公開案件審議終了後に協議します。</p> <p>それでは 議案第25号 邑楽町誌編さん委員会委員公募要綱(案)について、藤田生涯学習課長より説明をお願いします。</p> <p>生涯学習課長(藤田)</p> <p>議案第25号 邑楽町誌編さん委員会委員公募要綱(案)について、このことについて、別紙のとおり決定願いたく提出いたします。令和7年12月23日提出、邑楽町教育委員会教育長小林淳一。前回の教育委員会でご説明申し上げました、町誌編さん事業の実施に当たり、町誌編さん委員を組織することとしております。資料の令和8年3月議会に上程予定の邑楽町附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例(案)の4つ目の枠の(6)公募に応じた者と記載しており、その委員について、公募により選任する手続きについて定めるものとして、邑楽町誌編さん委員会委員公募要綱(案)では、第4条で公募委員の応募基準を規定しております。組織としては、公募の他に、町内各種団体代表者及び有識者で構成し委員長は教育長を充てることとしています。委員の任務としては、町誌編さんの基本計画を令和8年度当初に審議決定し、基本的な町誌編さんの方針に沿いながら、編さんが滞りなく行えるようその都度確認していただく等の内容を考えております。以上です。</p> <p>議長(小林)</p> <p>説明が終わりましたが、ご質問ありますでしょうか。</p>
--------	--

岡田委員	実際に委員に立候補して集まつたら、その人たちである程度原稿を書くということですか。
生涯学習課長(藤田)	実際の町誌編さん委員については、その下の組織に実務的な監修者と編集者がいます。そのため町誌編さん委員の方には、年に1・2回程度会議に出席いただき、原稿の進捗状況について、その都度審議をしていただこうと考えています。
岡田委員	出てきたものをチェックするという形ですね。
議長(小林)	実務というより確認ですね。
岡田委員	町誌編さん委員が20名以内と考えると、集めるのが大変ですね。
生涯学習課長(藤田)	こちら20名における各種団体長については、ある程度充て職となっています。また、公募要綱の中で、3ページの第2条にて公募委員は2名以内とすると要綱で定めています。
岡田委員	じゃあ実際の募集するのは2名以内ですね。
生涯学習課長(藤田)	はい。公募枠は2名です。
議長(小林)	この件に関しまして、ご承認いただいてもよろしいでしょうか。
	[承認]
議長(小林)	ありがとうございます。それでは、議案第25号邑楽町誌編さん委員会委員公募要綱については、原案どおり決定いたします。 次に、その他(1)邑楽町誌編さん委員の公募実施要領(案)について、藤田生涯学習課長より説明をお願いします。
生涯学習課長(藤田)	邑楽町誌編さん委員の公募実施要領つきましては、議案で審議していただいた、公募実施要綱中の第11条に規定する、別に定める内容になっております。応募期間、申込み書類等の提出方法、提出していただく作文のテーマなどを定めたものになります。募集につきましては、広報おうち1月号や町ホームページでお知らせする予定になっております。

議長(小林)	説明が終わりましたが、ご質問がありましたら、よろしくお願ひいたします。
生涯学習課長(藤田)	追加で一点相談がございます。附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例の中で、各種団体より町誌編さん委員の選出をいただく予定をしています。例えば他の団体ですと、区長会や商工会、文化協会などございますが、今回教育委員会として、教育委員さんの中から代表1名の町誌編さん委員の選出をいただければと思います。なお教育長につきましては、委員長という立場ですので、教育長を除く4名の中から1名ということでお願いできればと思います。会議については年1・2回程度を予定しており、編さんの実施状況の確認をすることが主になっていますので、特に執筆を依頼するということではないです。
議長(小林)	委員さんの中から選びたいということですが、何か確認しておきたいことはありますか。
岡田委員	任期は2年ですね。
生涯学習課長(藤田)	はい。ただ、完成は令和10年度中で、町制施行60周年記念事業の1つとして間に合わせたい所存です。
岡田委員	2年やってさらにその先1年ある可能性があるわけですね。
生涯学習課長(藤田)	無事に刊行すれば、そこで終了になります。
岡田委員	私がやりますよ。
議長(小林)	岡田教育委員さんが引き受けてくださるということで、よろしくお願ひします。 続きまして、(2)令和7年度邑楽町いじめ防止こども会議について、川島学校教育課長より説明をお願いします。
学校教育課長(川島)	会議要項の13ページをお願いします。期日・日程は令和8年2月6日(金)午後3時20分から午後4時50分の予定で、役場3階大会議室において令和7年

	<p>度邑楽町いじめ防止子ども会議を開催します。会議の参加者は、学校枠から各校代表の児童生徒各2名・引率教諭各1名、家庭枠からPTA会長・代表児童生徒の保護者のうち希望者、地域枠から青少年推進委員・スポーツ少年団・主任児童委員・社会教育委員各1名、及び、事務局として町教育委員会関係者でございます。昨年度の様子ですが、各校の取組発表を受けての意見交換を、児童生徒を4つのグループに分けて行い、進行役を中学生にお願いしました。地域の方にもグループに1名ずつ付いていただき、意見交換が滞った場合にサポートをお願いしてございましたが、特段サポートの必要はなく意見交換がなされておりました。委員のみなさまには、可能な範囲で児童生徒の取組発表と意見交換の様子を見守っていただければと思います。以上でございます。</p>
議長(小林)	これにつきまして、ご質問ありますでしょうか。
中村委員	毎年子どもたちから良いアイデアが出て、大人が行っても良い会議でした。是非継続して頂きたいと思います。
議長(小林)	<p>ありがとうございます。他にありますか。</p> <p>私が質問よろしいですか。これは要項なので、昨年とあまり変わっていない面も感じますが、昨年のいじめ防止子ども会議はどんなことが課題として挙げられて、その課題解決の改善策として、どのような取り組みを現状で考えているか、ありましたら教えてください。</p>
学校教育課長(川島)	内容的には大きな変更点はありません。ただ昨年は事務局が進行していくなか、発表の方法や機械の使い方などをこちらが口頭で説明をしたため、理解ができずに戸惑ってしまう児童生徒の方もいらっしゃいました。少し時間に余裕をもって早く来ていただくとか、当日は口頭ではなくペーパーで話し合う内容のメモを作成することや、時間配分も周知をして、限られた時間の中でスムーズに進行していくことが昨年度開催してみての課題となります。今年度はその辺を十分に意識しながら対応していくたいと思います。以上です。
議長(小林)	ありがとうございます。各校の発表のあとに、それを踏まえて、地域・保護者の方との協議を行うことはとても良いことだと思いました。ただ、その協議や話し合いの場が単に形としてだけではなく、何か1つ町内の学校が同一歩調で取り組めるようなことを提起できると良いと感じていま

	<p>す。何故ならその内容がきっと学校に持ち帰ったあの取組にも繋がると思うからです。その部分がまだ曖昧で具体的で無いように感じます。子ども会議は、町内が同じ歩調で、地域の方や保護者も交えながら取組が進められる素晴らしい機会ですので、その辺りが明確に出来る工夫をお願いしたいと思います。</p>
学校教育課長(川島)	<p>発表するだけではなく、学校へのフィードバックといったことをきちんと出来るように取り組んでいきたいと思います。</p>
橋本委員	<p>時間配分はこれまでありましたか。それとも各学校へ委ねられている部分でしょうか。</p>
学校教育課長(川島)	<p>概ね時間配分はあったと思います。ただ、生徒に何分かは直接伝わっていなかつたところもあると思いますので、その辺りはペーパーなどで、テーマごとの目安の時間といった配分をお知らせしていかなければと思います。</p>
橋本委員	<p>発表の場なので各学校によって発表時間に差があると、子どもたちが自身の発表に対してより長い発表を見ると、自分たちは他の学校より劣っていたと感じてしまうと思いました。なので、学校間であまり差が出ない方が良いのかなと思います。もちろん、学校では先生方が発表の練習を手伝ってくださっていますが、発表時間に合わせた中で行うことで、その中で内容を詰め込んで、一番ベストな状態のものを当日に発表できる、そういう形で、なるべくみんなが緊張なくその場を迎えると良いかなと思います。</p>
議長(小林)	<p>そうですね。例えば、ある学校は15分間の発表で、また別の学校は5分で終わってしまうような、その様なことがないようにしたいですね。それが良いものを発表しているわけですから、その辺りも具体的に伝えて、指導をしっかりしてもらうようにお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、ただいま出していただいたご意見等を踏まえて、さらに具体的に詰めていって頂きたいと思います。この件に関しましては、この通り、ご承知おきください。</p>
	<p>次に、(3)令和8年1月行事予定について、川島学校教育課長・藤田生涯学</p>

	習課長より説明をお願いします。
学校教育課 長(川島)	会議要項の14ページになります。学校教育課と小中学校の主な予定です。定例の管内校長会、園長会議、課長会議の他は、1月5日(月)は仕事始め、辞令交付式、7日(水)は3学期の始業式になります。16日(金)は教育支援委員会及び県町村教育委員会教育長・教育委員合同研修会、19日(月)から月末にかけまして、会計年度任用職員継続者の面接が予定されています。28日(水)は午前中は総合教育会議、教育委員会議、午後はコミュニティスクール学校運営協議会の委員候補者向けの研修会を行います。30日は教育研究所運営委員会が予定されています。以上でございます。
生涯学習課 長(藤田)	生涯学習課になります。資料が15・16ページになります。まず、左側の生涯学習係・文化財係でございます。1月11日(日)は二十歳のつどいを中央公民館で行います。それから、16ページの1月24日(土)から2月1日(日)まで、邑楽町指定文化財展を行います。次に邑楽町中央公民館です。1月24日(土)にオーランドさんお誕生日会を邑の森ホールを会場に行います。翌日には伝統芸能フェスティバルを行います。続いて長柄公民館です。1月21日(水)は長柄塾ということで、邑楽町の文化財保護調査委員である川島健二さんの講演会があります。続いて高島公民館です。1月7日(水)から3回あります、初めてのテーブル茶道教室を行います。続いて、図書館では1月18日(日)の友井羊さんの講演会、それから、体育館では24日(土)にスポーツ推進大会を役場3階で行います。主なものについては以上です。
議長(小林)	ご質問はありますか。
岡田委員	オーランドさんは大人気ですね。
生涯学習課 長(藤田)	そうですね。この行事は企画課の所管ですけれども、ほぼもう定員に達するのではないかと思います。
橋本委員	1月24日のスポーツ推進大会は表彰と講演会がこれまで通り一緒みたいな予定ですか。
生涯学習課 長(藤田)	そうですね。令和5年度までは講演会も実施していましたが、参加者が年々減ってきてしまって、直近では時間短縮で1番メインである全国大

	会、関東大会に係る表彰をメインでやるということで、コンパクトに実施したところ、昨年は参加者が大幅に増えたというような実績もあります。そのため今回も本来のスポーツ大会表彰をメインで行う予定です。
橋本委員	はい。良いと思います。
議長(小林)	この件に関しましては、このとおりご承知いただければと思います。次の(5)次回教育委員会の日程についてですが、事前に調整をさせていただいた結果、1月28日(水)の午前10時から開催予定とさせていただきました。午前9時30分からの総合教育会議が終わり次第の会議となります。こちらの日程でご異議ございませんでしょうか。
	[賛同の声]
議長(小林)	では次回の会議は、1月28日(水)午前10時から行うことにしておきます。つづいて、(6)その他について、皆様から何かございますでしょうか。
中村委員	昨今、教職員の病気等による休職の人数についてニュースになっております。教職員の精神的な理由による休職者が全国的に増加しており、0.77%いらっしゃるということです。その中でも、精神疾患で1ヶ月以上の病気休暇をした人は1万3千人を超えるという結果も出ています。それを踏まえて、現在の邑楽町の先生方について、精神的な理由により病欠されている方はいらっしゃるか、および健康状態をお伺いします。
議長(小林)	心の病で欠席されている方は現在おりません。ただ、校長先生が見ていて、最近言葉数が少ないとか、忙しそうな先生の場合には声かけを積極的に行なうように依頼しております。その確認の結果についても報告をもらっています。或いはその他にも、学校でその先生をフォローする仕組みをしっかりと作ってもらうように依頼をしております。
中村委員	ありがとうございます。確かにデータを見ると、休職ではなく退職する人もいると言っています。3年目くらいで辞めてしまう方が多いようです。その中でも一番多い理由が、子どもへの指導に関することで26.5%、その次に対人関係が23%、事務的な業務が12.7%、その後に気になるのが地域住民もしくは保護者とのトラブルが6.1%、あとは長時間勤務が0.5%と意外と少ない値となっています。ですから、数字が少ないとあって今

	<p>の2点は見逃してはいけないというのが文部科学省の本に書いてあります。先ほどの話で、管理職がメンタルケアをしっかり行いその方法で上手く回っているのかなと思いました。心の病で欠席されている先生が現状はいませんが、今後色々なことが発生する可能性は考えていく必要があるのかなと感じました。</p>
谷津委員	<p>少し前までは、残業していた先生が多かったですよね。夜も職員室に煌々と電気が付いていましたけれども、最近働き方改革でいくらか緩和されたのかなと思いますが、その辺りはどうでしょうか。</p>
岡田委員	<p>仕事を持ち帰ったりはないんですかね。</p>
議長(小林)	<p>持ち帰りは原則やらないと思います。国の決まりにより、時間外に残って仕事をする時間の上限を決めています。1ヶ月何時間、年間何時間以内と上限が決まっているので、昔のように際限なく残っている先生はいません。月ごとの時間外の勤務時間は、今は学校から毎月報告をもらっていて、それぞれの先生について上がってきています。その先生について、例えば月ごとの上限時間を超えている方も中にはいますが、あまりにも多く超えている場合には、教育委員会から校長先生に、どういう理由で、どんな仕事をやっていてこれだけ時間がオーバーしているのか、改善できるところはどんなところなのかを本人と校長先生で話し合って、それを報告するようにお願いをしております。そのように、先生方も校長先生も意識して仕事をやるようになってきたのが、現在夜遅くまで学校に電気が付いていない一番の理由だと思います。</p> <p>教育という仕事は、これをやってはダメだという仕事はないため、教育的な熱意から際限なく広がってしまいます。そのため学校には、ある程度重点を絞って先生方にお願いをするようにしてもらっていて、学校内の仕事の精選にも繋がっています。昔は担任の先生で毎日学級通信を出している人もいました。ですが、毎日出しているからといって、その人が良い指導をしているかというとそうとも限りません。それだけ学級通信を作る時間があれば、自分の授業の改善に回すなど、その辺りの考え方多少変わってきているところであります。</p>
谷津委員	<p>授業ももちろんですが、その他の提出する書類の仕事も多いらしくて、そうすると子どもたちに対しての教育が薄れてこないかなと思います。提出することに一生懸命で、実際現場で起きている教育に関する指導は</p>

	どうなのかなと気になります。
議長(小林)	昔と比べて、作って出す書類の量は激減しています。今はチェックや、丸をつけて提出する調査も多く、文部科学省の調査でも、直接インターネット上で回答できるようになってきています。私たちが現職の頃はA4裏表びっちり書いてまとめて報告を出すというのは普通にありましたけれど、そういうのに時間を取らないように、国や県への報告も変わってきています。町はもちろんですが、国や県も含め提出書類作成に時間を使わない配慮は進んできています。
岡田委員	ただ先生の質が下がっていますね。20年前は倍率が10倍近かったんですけど、今は2倍くらいでしょう。3倍以上ないと良い先生が取れないですよ。この影響として、中堅の先生と、若い世代の先生とで考え方にはギャップがあって、同じ感じで言ったらダメなんですよ。教育経済学の本をよく読みますが、いかに予算を教育のどこに集中してかければ子どもたちの効果が上がるかを考えると、違うんですよね。
議長(小林)	今お話を聞きながら思ったんですけれども、教師に求められる資質や能力で、昔は教える技術が求められていたと思いますが、最近の若い先生方に求められるのは、単に授業技術ではなく、その他の資質能力も必要になってきている時代なのかなと思います。委員の皆様からご覧になって、今の教職員に求められる、授業力以外にももっとこういった能力が必要ではないかというのが他にあったらお聞かせいただきたいです。
谷津委員	授業というのは、いくら子どもでも人間と人間との会話や受け取り方があるので、教科書通りというのではなく、人と人との心に入って会話することも大事だと思います。ただ、教えるだけだったら、AIが前に立つてやることも出来るので、だったら、人間として接することが必要になってくると思います。ただ教えれば良いのではなく、今はパソコンを使ってやっていることはすごく素晴らしいことだと思いますが、プラスアルファで人とのコミュニケーションも今の時代だからこそ大事だと思いました。
岡田委員	人はみんな同じ時間しか無いんです。朝来て夕方遅くまで無限に24時間働くことはできません。その中で時間をどう使い分けるか、もっと効率よく活用出来るか、そこがかなり重要な能力の1つでないかと思います。

	あとはイベントはとても多いので、そのイベントを上手く調整する能力も必要だと思います。
橋本委員	コミュニケーションスキルが必要になると思います。会話が出来なくな いし、指導力があつて教員になっているわけですけれども、中学生くら いになると大人の考えていることや、この先生の行動は良いことか悪い ことか、合うか合わないかとか、言っていることは間違っているとか、 そういうことって結構敏感に感じていると思います。そういう社会性や コミュニケーションスキルをある程度持ち、大人として接する自分のコ ミュニティとはまた別に使い分けて、毎年変わる自分の学級に合ったも のを表出してほしいなと思います。教える手法は黒板やタブレットを使 つてやっていますが、一方的にただ50分の授業を話して発信していくと いうことではなく、その中には対話力も必要でしょうし、そういう先生 に教われば授業も楽しいし、その先生は好きという気持ちに変わって、 学校に対する意識とか学習面の向上力を子どもたちは求めていくと思 います。あとは忙しい業務というのは教員に限らず、仕事している以上、 一日時間が決まっていてやることがこれだけあるというならば時間配分 とか、そういう自分の業務の分析力とか、教員も指導できる能力が必 要だと思います。頭が良いからとか、安定しているから決めたんだとか、 そういうことで職業を選ぶから長続きしないと思いますし、今は昔に比 べて教員の倍率が下がっているというと、教員だけではなく、職業選択 する資質も問われているのかなと思います。
岡田委員	離職率はどれくらいですか。
議長(小林)	県全体で今年4月に採用した方で、やめられた方は数名だと思います。そ の他に休んでいる方はいますが。
中村委員	先ほど話の中で出ましたが社会を知ることが必要だと思います。先生方 は教育論としては立派ですが、社会を知るということが若干欠けている のかなとすごく感じます。何かというと具体的には難しいですが、ニュ ースを見ればある程度のことは分かりますが、教えることとプラスアル ファで経済状況はどうだということを考える力が大切だと思います。今 後の未来に向けての教育を意識して欲しいと思います。
谷津委員	昔だったらなんとなく熱血という感じでしたね。

	中村委員 今は熱血は許されないですよね。
	谷津委員 ちょっと触れただけで暴力にもなりかねませんものね。
	中村委員 先ほどの話に通じますが、カスタマーハラスメントの問題も定義されました。ニュースでは80時間もカスハラで対応した先生もいたようです。私自身他市町で高校のPTA会長をやったことがあります、いろんな苦情なりお褒めの言葉なりいただいて、自分も保護者の1人だったんですが、皆さん色々な事を考えているんだなとやっぱり感じました。それはやはり、どちらかというと先生方が社会的なことの勉強不足が理由で始まっているのかなと感じました。
	岡田委員 教育っていうのは十人十色で、人それぞれみんな教育を受けているんですよ。じゃあ教壇に上がって喋ったことがあるのかというと、そういう人は少ないんです。それに何を言っても命に別状はないんです。体育で変な技でもやらない限り大丈夫です。何より成果が分からいいんです。成果があるかどうかは10年後に分かります。だから教育は何でもやるんです。やり方は自分の受けてきたのが主で、客観的で無くて自分が受けてきた教育からの主観的なんですね。
議長(小林)	ありがとうございました。お話を聞きながら思いましたが、若い先生を育てるという視点が管理職や教育委員会には必要で、見ていくということだけでなく若い先生をしっかりフォローする体制を作っていくことが大切だと思いました。あとは、やっぱり授業力だけではなく、社会性・コミュニケーション能力・対話力が大切だと思いました。今の子どもたちは昔ほど地域の人と接する場面も時間もないです。それがそのまま大学に行って先生になっている場合もありますので、やはり社会性とかコミュニケーションスキルとか、会話能力、人間関係を作っていく力とか、その辺りも見据えて教員養成はやっていく必要があると感じました。ありがとうございました。 事務局は何かありますか。
学校教育課長(川島)	学校教育課より、2点報告いたします。1点目、12月議会定例会一般質問についてです。学校教育に関する質問は、3名の議員からございました。新村議員からは、学校給食無償化について、松村議員からは、町内の小

	<p>中学校の認知症教育について、神山議員からは、小中学校のリユース制度(ランドセル・制服・体操着)について、修学旅行の内容や負担軽減策について、学校規模適正化・適正配置等について、質問がございました。2点目はコミュニティースクール関係になります。今後のスケジュールですが、先ほどの1月の行事予定でもお話ししましたが、年明けの1月28日(水)午後2時から役場の201会議室でコミュニティースクールの学校運営協議会委員候補者向けの研修会を開催することになりました。講師の先生は文科省コミュニティースクールマイスターの朝倉美由紀先生です。教育委員の皆さんもご都合がつきましたら、参加していただいても結構ですので、ご承知おきいただければと思います。以上2点になりますが、よろしくお願ひします。</p>
生涯学習課長(藤田)	生涯学習課から、先日の議会の一般質問において、黒田議員から町の社会体育施設の整備についてのご質問がありました。具体的には高島体育センターのエアコンの整備と町民体育館、武道館の床、それから照明、あとテニスコートの照明の老朽化等についてのご質問がありました。また加えて総合体育施設のご質問がありました。以上でございます。
岡田委員	体育館の照明は昔の水銀灯ですか。
生涯学習課長(藤田)	そうですね。生産が現在ほぼない状況で、手に入らなくなっています。実際に私が調べたところ、32個電球があってそのうち5個切れています。ということは1年で1個消えたから順番で消えていくと交換できません。ただでさえ他の体育館と比べると暗いというご意見を頂いています。今、来年度予算で体育館について、照明のLEDをレンタルで安く上げようなどを検討しています。あと床や壁がささくれているので、職員が補修していますが、それでもなかなか追いつかなくてその都度対応しています。この間も南中の生徒のTシャツが破けてしまい、消耗品で同じものを買って対応をしたんですけども、それでも万が一けがになりかねないと思います。
岡田委員	新築が一番良いのですが、なかなか出来ないです。直している時間もない。
谷津委員	計画もないですか。

生涯学習課長(藤田)	町長の公約でも掲げていますので、準備は8年度からですね。場所の調査とかを今肅々と進めていければと思います。
橋本委員	武道館の床は個人的にも気になっていました。家族で利用していますが、週に3回くらい町の昔からある卓球同好会の方たちが本来体育館でやるべき競技を、武道をするフロアで卓球台を使って練習しています。やっぱり用途が違うということでトラブルがあったりリスクも高くて、でもそれがずっと続いている現状があり、かなり床は痛んでいると思います。裸足と靴でも違うし、昔からのそういう利用方法が染みついているということから、なかなかそこを変えるのは厳しいみたいで、皆さん理解をしながら使っているとは聞いています。最近は、生涯学習課さんの方でスポーツ体験教室を去年今年くらいから実施してくれたこともあり入団者がすごく増えているようで、年長さんくらいから低学年の子たちがバタバタ入団していて、小さい子たちもやり始めていて、また邑楽町スポーツ剣道クラブで中体連も出られるようになったので、邑楽中学校と地域移行で一緒に練習したり、大会にも出たり、指導者の方が教えてくれているというところではすごく活気づいて来ているかなと思うので、こういったところも考えて頂けるとありがたいと思って聞いていました。
岡田委員	今、町の施設で、改築・新築改築の予定の順番があるのは寿荘ですか。
生涯学習課長(藤田)	そうですね。寿荘が高島公民館を含めた改築という方向性で第1回の検討委員会が終わって、この間視察に千代田町の総合福祉センターと佐野の田沼中央公民館・福祉センター、いわゆるお風呂が一緒に入ってる施設があって、それをちょっと視察に行ってきました。
岡田委員	委員公募して、何かやってますよね。そのメンバーで行ったんですね。
生涯学習課長(藤田)	そのメンバー21名で行きまして、福祉センター寿荘、社会福祉協議会、それと高島公民館を1つの屋根の下に入れて、新築という方向性で立ち上りました。それが最優先の事項で、数年かかるかなっていうのもありますけども、あとはちょっとした修理や今言った照明のLED化の対応を予定しています。
谷津委員	寿荘は何年計画ですか。

生涯学習課長(藤田)	数字的にはまだ分かりません。
谷津委員	お風呂も付けて
生涯学習課長(藤田)	そうですね。利用者からもかなりの要望があります。高島公民館も開館して34年が経っておりまして、大規模改修の時期にさしかかろうとしています。そうすると数千万かかるものを今ストップしているところで、であれば、お互いにメリットデメリットをいろいろ考えて、より良い方向で子どもから年配の方まで多世代が交流できるような、北部地区の拠点施設として出来たら良いのではないかという方向で検討委員会を今進めています。
谷津委員	場所はどこですか。
生涯学習課長(藤田)	あの辺りの一体という方向です。
谷津委員	社会福祉協議会もありますよね。
岡田委員	体育館もありますよね。
生涯学習課長(藤田)	ただ、体育館はあそこのエリアだけ出ているので、あえて壊していく方向ではなくて良いかなというようなところです。
谷津委員	ちょうど社会福祉協議会が高島公民館の真ん中にありますよね。それも一緒にしますか。
生涯学習課長(藤田)	そうですね。それも一緒に、福祉の拠点施設でもあります。ただ、これからの時代は、人口自体も減る一方なので、あまり欲張らず、またこれから時代の人たちがお風呂に入りに行くかどうかというそういう問題もあります。
議長(小林)	ほかになれば、非公開案件に移りたいと思います。 傍聴人のかたはここでご退席をお願いいたします。
	それでは6の(4)長期欠席者等の状況について、を議題とします。

[以下非公開]

それでは、以上で12月の教育委員会会議を閉会します。
ありがとうございました。

会議録

以上の内容は、書記が記載したものであり、会議の内容と相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長.....

委 員.....

委 員.....

書 記.....